

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立狭山工業高等学校)

目指す学校像	心豊かで確かな学力を身に付けた、地域産業を担う技術者を育成する。
--------	----------------------------------

重点目標	1 学習習慣の確立や授業改善を通じて、生徒の基礎学力を向上させる。 2 保護者と連携して、規律ある高校生活を実現するとともに、生徒一人一人を大切に生徒指導を推進する。 3 地域への情報発信や連携を通じて、地域に根ざした学校づくりを推進する。 4 キャリア教育の充実やものづくりの技術・技能の向上、資格取得を推進し、生徒の進路希望を実現させる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	17名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】生徒アンケートの結果、全く勉強しないと答えた生徒は一昨年35%、昨年は19%だった。スマートフォンの使用時間が長いという結果も出ている。 【課題】生徒全体が学習へ意識を向けるようにすることが必要である。	自ら学ぶ姿勢を身につけさせ、基礎学力の向上を図る。	①定期考査前に自習室を開設し、自ら学習する環境を整える。 ②きめ細やかな指導で学力の向上を図る。 ③情報セキュリティ講座の中で、スマートフォンの利用時間と学業の関係性について触れる。	①自習室の利用者数100人以上。(生徒アンケートで調査) ①授業以外で全く勉強しない生徒18%以下。(昨年度19%) ②優良者100人以上。(昨年度1学期95、2学期73) 欠点保有者数100人以下。(昨年度2学期109) 転退学者数30人以下。(昨年度34) ③学習時間を除く3時間以上のスマートフォン利用者280人以下。(昨年度301)	年々学習に向かう姿勢が良くなっている。 ①自習室利用者:392人、68.5% ①授業以外で全く勉強しない生徒:73人、12.7%。(過去3年で最少) ②成績優良者:1学期90人、2学期77人。(昨年と同程度) 欠点保有者:2学期109人。(昨年と同数) 転退学者:6人。(過去3年で最少) ③学習時間を除く3時間以上のスマートフォン利用者:294人。(昨年と同程度)	A
2	【現状】特別指導件数が減少し、落ち着いた学校になっている。学校は綺麗に清掃され、挨拶もよくできているが、更に良くなる余地はある。 【課題】巡回支援員から学んだ指導方法を全ての教員間で共有していく必要がある。	生徒指導件数を減らすため、学校の生活環境を整える。	①保護者と連携し、整容指導、登下校の交通安全指導を行う。 ②学校行事や部活動等に積極的に取り組ませる。 ③合理的配慮を必要とする生徒への支援方法を学ぶ。	①特別生徒指導件数7件以下。(昨年度8件) ②部活動加入率70%以上。(昨年度63%) ③長期欠席者15名以下。(昨年度15名) ③巡回支援員等から学んだ方法を職員会議等で報告。(昨年度実施なし)	落ち着いた学校になっている。 ①特別生徒指導件数:3件4人。不正行為0。 ②部活動加入率:77.1%。 ③長期欠席者:6人。 ③巡回支援員の都合で、来校回数は少なかったが、いただいたアドバイスは職員会議で報告し、情報共有できた。	A
3	【現状】地域連携は出前授業、地域のイベント参加等とおして図られている。 【課題】中学生、その保護者、地域の方に来校していただき、本校の魅力をアピールすることが必要である。	本校の魅力をアピールし理解してもらう。	①狭紅茶、進路実績、資格取得、地域のイベント参加等、本校の特色魅力等をホームページを利用して発信する。 ②学校説明会、体験入学、個別相談会等で本校の良さを伝える。	①ホームページのアクセス数。(4月1日、974,253) ②学校説明会、体験入学、個別相談参加者数、合計500名以上。(昨年度466)	情報発信はできているが、中学生等に浸透はしていない。 ①ホームページのアクセス数:1,440,219(2月1日現在 約46.5万件) ②学校説明会、体験入学、個別相談参加者数:345人(2月1日現在)	B
4	【現状】進路決定率は高い水準を維持している。 【課題】進路実現のため、より高度な技術を身に付けることができるよう、保護者と協力しながら更に資格取得に力を入れる。	学校・生徒・保護者間の進路に関する情報共有を進める。	①生徒一人一人の興味適性に応じた進路選択と、就職試験、入学試験に向けた指導を組織的に取り組む。 ②資格試験の募集期間や申し込みの締め切りを一斉メールで保護者に伝える。担任、学科からの更なる声かけ。	①就職、進学共に希望者の合格率100%。(昨年度 就職100%、進学92%) ②資格取得者延べ630名以上。(昨年度延べ661名、1クラス減のため)	コロナ禍においても高水準の進路実現を維持している。 ①就職合格率98.5%。 進学合格率98.1%。(2月1日現在) ②資格取得者延べ340名。(2月1日現在) 年度前半は中止となる資格試験も多く、受験の機会が少なかった。	A

学校関係者評価
実施日 令和3年2月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・授業以外で全く勉強しない生徒が年々減少していることは素晴らしい。 ・転退学者が過去最少というのも取組の成果が表れていると思う。 ・自習室の利用者が多いというのは、学校の学習環境が良いということ。 ・自習室が学力向上につながっていると思う。 ・課題は、欠点保有者の減少。
<ul style="list-style-type: none"> ・特別生徒指導件数や長欠生徒が減少していることは素晴らしい。 ・登下校は、通勤の人に道を譲りながら、学校の名誉を守って歩いてくれている。ここから伝わる学校の印象は良いと思います。しかし、たまにマナー違反の生徒を見ると残念に思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で、学校説明会等が減るのは仕方ないと思う。その分、中学生はネットからの情報収集が主流になっている。中学生や保護者に、進路実現の素晴らしい学校であることを、もっとアピールすればよい。 ・資格取得については市内には浸透しているが、全県に名を馳せてほしい。 ・狭山工業高校の魅力をアピールして、入学希望者を増加させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、進路実現が高水準を維持していることは素晴らしい。 ・保護者アンケートの中にあつた、資格予定、学校行事等の積極的な情報発信を、もっと一斉メールで行ってほしい。